

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和元年 8月16日  
18時42分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403030 南明治整備課工務係  
事務事業 02265 南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業

所属長名 早川一徳  
担当者 石川一成  
電話番号 0566-71-3751

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	003	経済			
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）			
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進			
事務事業	005	南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業			
事業期間	平成22年度～令和8年度	17年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	健全
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	道路の利用者が
目的	安全に通行することができるようになります。
手段	南明治土地区画整理事業の進捗に合わせ、事業区域から延伸する地区外の都市計画道路等の整備を進めます。まちなかに賑わいを創出するため、オブジェ等を設置します。
事務内容	整備計画の進捗管理、設計業務、工事現場監督、関連事業者との調整、物件調査・補償、用地買収。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	42,600	35,871	28,410
事業費	41,025	30,516	24,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	8,838	8,000
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	41,025	21,678	16,000
人件費計	1,575	5,355	4,410
正規（人）	0.25	0.85	0.70
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	駅前1号線におぢいさんのランプの木、良寛物語、南吉ときつねのオブジェ等の修景施設を整備しました。	（都）南安城横山線整備のため、道路事業認可図書の作成、未広橋の予備設計を実施しました。また、当該路線の用地買収、物件移転補償を進めるため、用地測量、物件調査を実施しました。	（都）南安城横山線整備のため、未広橋を含めた道路の詳細設計を実施します。また、区域界の区画道路10-5号線の一部区間を整備します。

# 事務事業評価シート(2/2)

2頁  
令和元年 8月16日  
18時42分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403030 南明治整備課工務係  
事務事業 02265 南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(都)駅前1号線整備進捗率(事業費ベース)	%	100.00 100.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(都)南安城横山線整備進捗率(事業費ベース)	%	0.00 0.00	5.94 4.10	6.40 0.00
区10-5号線整備進捗率(事業費ベース)	%	0.00 0.00	8.33 8.33	41.70 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市道の整備であり、市による事業実施が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	交通渋滞の緩和、自転車、歩行者の安全確保のために必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	土地区画整理事業に合わせて進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	積極的に国、県の補助金を活用し事業を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体等と同様に基準に沿った整備内容です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	土地区画整理事業の整備効果を高めるため、地区外に延伸する道路を土地区画整理事業と一体的に整備して、交通安全の確保を図るとともに、まちなかの回遊を誘導して賑わいを創出します。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和元年 8月16日  
18時42分55秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403030 南明治整備課工務係  
事務事業 02266 南明治土地区画整理事業地区外排水路等整備事業

所属長名 早川一徳  
担当者 石川一成  
電話番号 0566-71-3751

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）		
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進		
事務事業	006	南明治土地区画整理事業地区外排水路等整備事業		
事業期間	平成27年度～令和8年度	12	年間	
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

## 【事業分析】

対象	追田排水区及び花ノ木排水区内の住民が
目的	大雨災害に対して安心して暮らせるようになります。
手段	南明治土地区画整理事業の進捗に合わせて、事業区域に接続する地区外の排水路を整備します。
事務内容	整備計画の進捗管理、設計業務、工事現場監督、関連事業者との調整、用地買収

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	3,136	13,394	47,925
事業費	1,246	9,614	43,200
国庫支出金	0	3,596	14,000
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,246	6,018	29,200
人件費計	1,890	3,780	4,725
正規（人）	0.30	0.60	0.75
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	未広雨水幹線予備修正設計を実施し、計画ルート及び整備内容を検討しました。	未広雨水幹線及び排水路1-2号線の詳細設計を実施します。また、未広雨水幹線の排水路用地を取得します。	未広雨水幹線及び排水路1-2号線の工事を実施します。

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403030 南明治整備課工務係  
事務事業 02266 南明治土地区画整理事業地区外排水路等整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
末広雨水幹線整備進捗率(事業費ベース)	%	10.10 2.72	9.60 6.50	30.60 0.00
排水路1-2号線整備進捗率(事業費ベース)	%	0.00 0.00	10.50 9.50	47.40 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市管理の幹線排水路の整備であり、市による事業実施が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	大雨時の浸水被害防止に必要な事業であり、ニーズはあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	土地区画整理事業に合わせて進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	積極的に国、県の補助金を活用し事業を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体等と同様に基準に沿った整備内容です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	土地区画整理事業の一層の促進を図るとともに、事業を計画期間内に完了するため、土地区画整理地区内の排水路の整備と同調又は先行して地区外排水路の整備を行い、追田排水区及び花ノ木排水区の浸水被害を抑制します。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和元年 8月16日  
18時44分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403040 南明治整備課換地係  
事務事業 02270 南明治第一土地区画整理事業

所属長名 早川一徳  
担当者 黒野修  
電話番号 0566-71-3751

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）		
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進		
事務事業	001	南明治第一土地区画整理事業		
事業期間	平成19年度～令和8年度	20	年間	
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生 健全
根拠法令等	土地区画整理法			
備考				

## 【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。また、美しい市街地景観が形成され、都市機能の整備も図られて、土地利用を増進させることができるようになります。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。
事務内容	整備に支障となる建物等の移転補償を行うため物件調査、補償交渉を行います。そして、道水路等を整備するため詳細設計、築造工事の施工・管理を行います。また、事業計画や換地計画の作成及び国庫補助申請も行います。なお、住宅市街地総合整備事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	1,963,055	1,652,244	2,007,987
事業費	1,918,010	1,607,829	1,962,627
国庫支出金	1,073,507	561,904	850,950
県支出金	72,315	68,831	71,684
地方債	448,000	698,843	637,000
その他	332	160,092	200,003
一般財源	323,856	118,159	202,990
人件費計	45,045	44,415	45,360
正規（人）	7.15	7.05	7.20
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	仮換地指定面積6,870 m <sup>2</sup> 建物移転戸数34戸 道路築造延長201.0m 協議会活動回数11回 事業用地取得1,256m <sup>2</sup>	仮換地指定面積7,969 m <sup>2</sup> 建物移転戸数29戸 道路築造延長871.7m 協議会活動回数11回	仮換地指定面積2,300 m <sup>2</sup> 建物移転戸数34戸 道路築造延長707.0m 協議会活動回数11回

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

2 頁  
令和元年 8月16日  
18時44分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403040 南明治整備課換地係  
事務事業 02270 南明治第一土地区画整理事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
家屋移転の進捗率（戸数）	%	68.80 70.90	80.40 82.50	93.30 0.00
仮換地指定の進捗率（面積）	%	65.00 65.40	73.20 73.20	75.40 0.00
道路築造の進捗率（延長ベース）	%	43.90 42.90	61.39 62.14	75.42 0.00
水路築造の進捗率（延長ベース）	%	52.00 53.20	62.50 63.80	87.10 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	既成市街地の整備であり市自ら事業を実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	H18年に末広・花ノ木から事業促進陳情書が提出されています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	事業費ベースの進捗率は56.3%で順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	住宅市街地総合整備事業と合併施行を実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	補助金を受けるため基準どおりの算定を行っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	重点密集市街地である当地区の居住環境の改善と防災機能の向上を目指し、安心で安全な市街地の形成と中心市街地としての活性化が図られるよう、本事業を推進します。 なお、中心市街地として定住人口や交流人口が増加し、回遊性が向上することで、さらなる賑わいをもたらす都市拠点の形成が図られることが望めます。そのため、取得した市有地を集約して有効活用を図るとともに、権利者の方には土地の共同化及び高度利用化による優良な建築物等の整備を促してまいります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和元年 8月16日  
18時44分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403040 南明治整備課換地係  
事務事業 02271 住宅市街地総合整備事業

所属長名 早川一徳  
担当者 黒野修  
電話番号 0566-71-3751

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）		
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進		
事務事業	002	住宅市街地総合整備事業		
事業期間	平成18年度～令和8年度	21年間		
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト	地方創生	健全
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱			
備考				

## 【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。
手段	住宅市街地総合整備事業により、老朽住宅を除却し、耐震性貯水槽・特殊道路・ポケットパーク等を築造します。集会所、仮設住宅、コミュニティ住宅等の供給も行います。また、住宅の建替えを共同で実施することを促進します。
事務内容	道路等を整備するため詳細設計、築造工事の施行・管理を行います。そして、老朽住宅の除却対象となる建物調査、補償交渉を行います。また、事業計画の作成や国庫補助申請も行います。なお、土地区画整理事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	285,292	248,290	311,857
事業費	267,652	233,170	295,792
国庫支出金	118,213	102,161	130,000
県支出金	0	0	0
地方債	102,000	90,969	118,000
その他	5,143	4,873	5,292
一般財源	42,296	35,167	42,500
人件費計	17,640	15,120	16,065
正規（人）	2.80	2.40	2.55
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	建物除却戸数7戸 道路築造延長89.0m 仮設住宅の借上げ11戸	建物除却戸数7戸 道路築造延長52.3m 仮設住宅の借上げ13戸	建物除却戸数7戸 道路築造延長77.0m 仮設住宅の借上げ13戸

# 事務事業評価シート(2/2)

4頁  
令和元年 8月16日  
18時44分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403040 南明治整備課換地係  
事務事業 02271 住宅市街地総合整備事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
除却家屋の進捗率(戸数)	%	94.50	98.80	97.10
		94.50	93.10	0.00
コミュニティ住宅の累計戸数(建設型・借上げ型)	戸数	27.00	27.00	27.00
		27.00	27.00	0.00
追田川プロムナード築造の進捗率(延長ベース)	%	0.00	0.00	28.31
		0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
理由	既成市街地の整備であり市自ら事業を実施する必要があります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
		3 市民ニーズはない又は不明である		
理由	H18年に末広・花ノ木から事業促進陳情書が提出されています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である		
		3 進捗はかなり遅れている		
理由	事業費ベースの進捗率は85.2%で順調に進捗しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
理由	土地区画整理事業と合併施行を実施しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由	補助金を受けるため基準どおりの算定を行っています。			

## 【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント(400文字)	狭あいな道路、不整形な過小宅地、密集した木造老朽住宅、既存商店街の活力低下等により防災上の懸念を抱えております。土地区画整理事業との合併施行により、重点密集市街地である当地区の居住環境の改善と防災機能の向上を目指し、安心して安全な市街地の形成と中心市街地としての活性化が図られるよう、本事業を推進します。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント(400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

5 頁  
令和元年 8月16日  
18時44分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403040 南明治整備課換地係  
事務事業 02272 南明治第二土地区画整理事業

所属長名 早川一徳  
担当者 廣村郁夫  
電話番号 0566-71-3751

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目(施策)	004	10都市基盤(市街地)		
施策の方針	002	都市拠点(JR安城駅周辺)の整備促進		
事務事業	003	南明治第二土地区画整理事業		
事業期間	平成21年度～令和2年度	12年間		
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生 健全
根拠法令等	土地区画整理法			
備考				

## 【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、都市機能の整備が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されて、土地利用を増進させることができるようになります。また、安城更生病院跡地が有効利用されることで中心市街地が活性化されます。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。
事務内容	整備に支障となる建物等の移転補償を行うため物件調査、補償交渉を行います。そして、道水路等を整備するため詳細設計、築造工事の施工・管理を行います。また、事業計画や換地計画の作成及び国庫補助申請も行います。令和元年度に換地処分公告予定です。令和2年度に清算金事務を行い事業完了となる予定です。

## 【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	142,845	17,116	18,752
事業費	132,450	9,241	11,507
国庫支出金	24,822	2,500	400
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	4	7	2
一般財源	107,624	6,734	11,105
人件費計	10,395	7,875	7,245
正規(人)	1.65	1.25	1.15
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	事業計画変更 換地計画書作成	公共編入 事業計画変更 換地計画書修正	換地計画認可申請 換地計画変更認可申請 換地処分通知発送 換地処分公告

# 事務事業評価シート（2/2）

6頁  
令和元年 8月16日  
18時44分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403040 南明治整備課換地係  
事務事業 02272 南明治第二土地区画整理事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
家屋移転の進捗率（戸数）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00
仮換地指定の進捗率（面積）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00
道路築造の進捗率（延長ベース）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00
水路築造の進捗率（延長ベース）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	既成市街地の整備であり、市自ら事業を実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	全ての仮換地が使用収益が開始され、工事も完了しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	全ての仮換地が使用収益が開始され、工事も完了しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	施行区域内の整備は計画どおりに終了しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施行区域内の整備は計画どおりに終了しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	全ての仮換地の使用収益を開始しており、計画されていた工事も終了しています。令和元年度は換地計画認可申請や換地処分通知発送を行い、換地処分公告を行います。令和2年度には事業完了に向けて清算金事務を実施してまいります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

7 頁  
令和元年 8月16日  
18時44分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403040 南明治整備課換地係  
事務事業 02273 南明治第三土地区画整理事業

所属長名 早川一徳  
担当者 黒野修  
電話番号 0566-71-3751

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目(施策)	004	10都市基盤(市街地)		
施策の方針	002	都市拠点(JR安城駅周辺)の整備促進		
事務事業	004	南明治第三土地区画整理事業		
事業期間	平成29年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生 健幸
根拠法令等	土地区画整理法			
備考				

## 【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、都市機能の整備が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されて、土地利用を増進させることができるようになります。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。
事務内容	整備に支障となる建物等の移転補償を行うため物件調査、補償交渉を行います。そして、道路等を整備するため詳細設計、築造工事の施工・管理を行います。また、事業計画や換地計画の作成及び国庫補助申請も行います。

## 【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	17,724	26,826	20,099
事業費	11,739	20,841	14,114
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	11,739	20,841	14,114
人件費計	5,985	5,985	5,985
正規(人)	0.95	0.95	0.95
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	区画整理設計 まちづくり協議会支援	想定換地 まちづくり協議会支援	事業計画図書作成 実施計画図書作成 まちづくり協議会支援 区画整理設計修正

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001403040 南明治整備課換地係  
事務事業 02273 南明治第三土地区画整理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
まちづくり協議会の設立	地区	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00
想定換地設計の作成	地区	0.00	1.00	1.00
		0.00	1.00	0.00
事業計画関連図書の作成	地区	0.00	0.00	1.00
		0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	既成市街地の整備であり市自ら事業を実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	H15年に区画整理事業施行区域として都市計画決定されています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	令和2年度の事業認可を目指し区画整理設計を実施しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	現在、効率的な事業計画及び実施計画を策定しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業計画及び算定基準に基づき実施する事業です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	平成15年に南明治土地区画整理事業として都市計画決定をしてから建築の制限がかかっており、土地利用を規制している状況であるため、早期の事業化が必要です。まちづくり協議会が立ち上がり、勉強会を主催するなど権利者の意識も高まってまいりました。今後も権利者の皆様と連携して土地区画整理事業を進め、都市基盤を整備するとともに、共同化や高度利用化を誘導することで中心市街地としてふさわしいまちづくりを進めてまいります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。